



# 中小企業家同友会全国協議会 第43回定時総会 in 北海道

2011.7/5 Tue - 6 Wed  
13:00開催 12:00閉会

主会場：ロイトン札幌(全体会議、分科会、パーティー)  
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目 TEL.011-271-2711

サブ会場：さっぽろ芸術文化の館(分科会)  
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西12丁目 TEL.011-231-9551

参加費：20,000円(宿泊代別)



中小企業憲章制定1周年、  
中小企業家の総力を結集して、  
日本再生に挑もう

主催：中小企業家同友会全国協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-39-14 大塚ビル2F。(※6月25日以降千代田区へ移転)  
TEL.03-5953-5721 FAX.03-5953-5720 URL <http://www.doyu.jp/>

設営：一般社団法人 北海道中小企業家同友会

〒060-0906 札幌市東区北6条東4丁目8番44 札幌総合卸センター8号館  
TEL.011-702-3411 FAX.011-702-9573 URL <http://www.hokkaido.doyu.jp>



中同協第43回定時総会  
実行委員長

田中 傳右衛門

## 実行委員長あいさつ

この度の大震災により尊い生命を失われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を被られた方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

がれきの中からいち早く事業を再開し、地域の人々の暮らしを支えていったのは中小企業であり、その先頭には同友会会員の姿がありました。昨年6月18日に閣議決定された「中小企業憲章」から「中小企業は経済を牽引する力であり、社会の主役である」という言葉が、実感を持って響いてきます。

日本再生の課題も、気概と展望をもった中小企業家が全国に広がってこそです。同じ時代に生きている者同士、「激動を良き友としよう」、「厳しい時こそ良く学び合おう」という同友会の合言葉をかみしめ、胸襟を開いてじっくりと語りあい、学び合い、その成果を自社に地域に生かし、明るい未来を切り開いて参りましょう!

皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げます。

## 総会スケジュール

### (第1日目)

- 12:00 受付開始  
(ロイトン札幌)
- 13:00 全体会議開会  
議案提案
- 14:00 分科会へ移動
- 14:30 分科会開始
- 18:30 分科会終了
- 19:00 懇親パーティー開会
- 20:30 懇親パーティー閉会

### (第2日目)

- 9:00 全体会議再開
  - ・全分科会からの報告
  - ・特別報告「東日本大震災からの復興をめざして」
  - ・議案採択
- 12:00 閉会

## 意義・目的

- 1 日本経済を揺さぶる東日本大震災に全社一丸となって立ち向かい、企業間ネットワークを強化して、新たな企業変革をすすめる総会とします。
- 2 中小企業憲章制定1周年を節目に中小企業憲章の精神を地域に広げ、地域を再生していくために中小企業振興基本条例制定運動を推進する総会とします。
- 3 同友会理念に学び、会員の連携をさらに強めて、「今こそ同友会の出番」を合言葉に5万名会員実現と組織率10%をめざして前進する総会とします。

## 中小企業家同友会全国協議会 第43回定時総会分科会

1 日本経済を展望する

### 1 分科会

中同協



慶應義塾大学 経済学部  
教授 植田 浩史氏  
中同協 - 企業振興研究  
センター副理事長

## 日本と地域経済の発展方向と中小企業の役割

### 災害復興と経済構造の転換を考える

日本の産業構造は成熟した段階にあり、先進国に侵され、脱出の方向を見い出せない状態です。昨年6月経産省が発表した「産業構造ビジョン」でも充分解明されていません。それは地域と中小企業重視の視点が弱いからです。市場の成熟期こそ中小企業の出番です。市場変化に対応する機敏さ、ネットワークの構築、小規模需要の発掘、地域を活躍の舞台とする等が考えられます。東日本大震災の復興においても、大災害に弱い体質の経済構造からの転換が問われているといえます。

### 2 分科会

中同協



経済国立大学  
大学院環境情報研究  
所 教授 三井 透友氏

## 「中小企業憲章」閣議決定の意義と今後の運動の展望

### 21世紀の中小企業政策の課題

2010年6月18日「中小企業憲章」が閣議決定されました。2003年の全国総会(福岡)以来、会を挙げて憲章制定運動に取り組んできた同友会は、憲章を生かし、中小企業政策のさらなる充実をめざし運動を強化していかなければなりません。本分科会では、2008年中同協中小企業憲章ヨーロッパ視察のコーディネーターであり、憲章制定にも関わった報告者より、憲章制定の意義、中小企業政策の日欧比較、今後の運動の方向を学びます。憲章制定1周年を記念する分科会となります。

### 3 分科会

中同協



赤石 義博氏  
中同協副総務(前会長)

## 逆境の試練の中で確立されてきた同友会理念と経営者魂

### 「労使見解」を生み出した自主・民主・連帯の精神

「中小企業こそ日本経済の真の担い手」の使命感を持ち、戦後の荒廃の中から立ち上がった先人達。その志を継ぎ、同友会創立、中同協設立を経て、「三つの目的」の制定、「労使見解」の発表、経営指針確立の提起と運動は深化、発展します。とりわけ、企業づくりのかなめとなる労使のあり方をまとめた「労使見解」の基礎となる自主・民主・連帯の精神を深く理解することが大切です。どんな困難も克服する不屈の同友会精神、経営者魂を学ぶ分科会です。

4

分科会

大阪



西田工業株式会社  
代表取締役  
美馬 敏正  
中興協賛労働委員会  
委員長



株式会社インターフォワードシステムズ  
代表取締役  
中本 久美子  
大阪同友会  
企業変革支援プログラム推進部長

## 「労使見解」を生かして経営指針実践運動へ 経営者として欠けていたもの～今、始まった変革への道

経営者の立場、経営者の目線で労使関係を築き、経営指針も成文化、いや、そのつもりでした。しかし、社員の言動から何か違うものを感じ…。そんな中、「企業変革支援プログラムステップ1」で自社の立ち位置を知ると同時に、社員とのギャップに気づきます。経営者として、欠けていたものがはっきりと見えた今、本当の変革に向けての第一歩が始まりました。

本分科会では、「企業変革支援プログラムステップ2」テスト版が紹介されます。

5

分科会

岡山



岡山トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長  
梶谷 俊介氏  
岡山同友会副代表理事

## 社員の可能性を引き出す経営者の役割

### 同友会の社員共育から見てきたもの

1991年に同友会に入会。人を育てる上では「店長は経営者と同じ」と考え、店長を同友会会員に、社員共育大学に社員を参加させ、幹部にフォローを任せていましたが、2005年に社員教育委員長となり、「社員共育大学は社員を教育するための場ではなく、経営者自身の気づきの場でもある」とことに気づきました。同友会の社員共育活動を通して経営者は何を学び、自社にどのように活かすのか、また、同友会の社員共育プログラムにどのように関わることができるかを考えます。

6

分科会

広島



興伸工業株式会社  
代表取締役社長  
岡本 祐一氏  
広島同友会会長兼副委員長

## 人材の採用と育成がわが社の運命を左右する

### 共同求人活動で企業を守り、地域を守る

岡市は人口約24万人。同友会興支部は共同求人活動で、大卒とともに高校生の採用に取り組み、高校の先生方との信頼関係を築いています。

岡本氏は後継者として興伸工業株式会社に入社。社員の高齢化で「このままでは会社がなくなる!」との危機感から共同求人活動に参加。新卒で入社した子が、いまでは会社を支える中堅幹部になっています。先の見通しが利かない産業プラント業界にあって、社員とともに、技術力の継承・高度化を通して自立型企業づくりをめざしています。

7

分科会

三重



株式会社モクモク手づくりファーム  
専務理事  
吉田 輝氏  
三重同友会農林水産部会長

## 農業と中小企業家の連携で地域から新たなうねりを

### 農業が持続可能な社会を創る

地域を元気にし、地域で共に生き、幸せになれる持続可能な地域社会をつくるためには、農業と中小企業家が連携し、地域内で雇用や消費が進み、お金も循環していく取り組みが必要です。

モクモク手づくりファームは、23年前に地域の養豚農家が出資して誕生して以来、「安心・安全」にこだわり、企業的農業経営による地域ブランド・農村交流ネットワークを構築してきました。三重同友会農林水産部会を通して、地域連携による仕事づくりや持続可能な地域社会づくりを学びます。

8

分科会

岩手



有限会社ニッパ  
コミュニケーション企画  
代表取締役  
吉田ひさ子氏  
岩手同友会副代表理事



株式会社プロテック  
代表取締役  
村松 幸雄氏  
岩手同友会代表理事



株式会社健康工房  
代表取締役  
中村 喜一氏  
岩手同友会常任理事

## 大災害からの復興は、地域と共に生きる企業の絆でこそ実現する

### 千年に一度の災禍を乗り越え、千年続くまちを夢見て

大震災から、復興に向けて懸命に取り組む岩手同友会。その背景には、「共に生きる」企業づくり、地域づくりを掲げ、新たな仕事づくりにも取り組んできた日常の活動があります。「共に生きる部会」の取り組みは、高齢者や障がい者を含め、地域全体で、拠り所を作り、仕事を作り出し、人と人の絆を紡いできました。未曾有の危機にも慌てず「何のために生きるのか、何のために経営するのか」を問い直した企業家の姿勢は、着実に地域と人間の復興を進めています。

9

分科会

北海道



株式会社仲野農産  
代表取締役  
仲野 満氏  
北海道同友会理事

## 農業の六次産業化を目指す

### ～年間8万人が訪れるファームレストラン～

仲野氏は100年続く農業の4代目。農村らしい風景の中で自家農場の農産物や近隣の農家の新鮮な食材を使用した料理を楽しんでもらいたいと、ログハウスを手作りで完成させ、1995年にファームレストラン「ハーベスト」を開業。年間約8万人が訪れるレストランにまで育て上げました。農業・農村の価値を自覚し、農業をベースにした生産活動により地域を活性化し、人々に喜びと感動を与えたいという仲野社長の思いから、生産者の進むべき道、これからの農業・農村の姿を語っていただきます。

本分科会は6月3日申込締切りとなります(定員50名)



10  
分科会

沖縄



北城産業  
代表取締役社長  
新垣 勲氏  
沖縄同友会代表理事

## 中期ビジョンで描く、真に沖縄を代表する経営者団体に！ すべての支部で組織率10%突破を目指して

沖縄同友会は1987年に創立し、1991年度からは中期ビジョンを作成して同友会運動を推進してきました。1次～4次の5年ごとのビジョンで掲げた課題や目標を着実に達成し、創立当初の夢だった1,000社の同友会に到達。真に沖縄を代表する経営者団体としての組織構築に向けて、今年度すべての支部で組織率10%突破等の課題を掲げ、第5次中期ビジョンがスタートしました。沖縄同友会の強みとは何か、地域で果たした役割などを振り返りながら、30周年を展望します。

11  
分科会

中同協



ホワイズ・インフィニティ  
代表取締役  
小林 雅人氏  
神奈川同友会副代表理事



サトー産業(株)  
代表取締役  
佐藤 慎輔氏  
愛媛同友会 四国中央支部長

## 地域に責任がもてる減らない組織づくり 積み重ねから生まれる「顔と企業が見える」活動

神奈川同友会のグループ研究活動は、2008年4月から9グループでスタート。2010年度は14グループの登録で毎月、「事業承継」「売上アップ」等をテーマに自主的に行われています。このことで退会数が減ってきている実践的取り組みを報告。愛媛・四国中央支部は国内有数の紙の産地。15年間にわたりグループ会活動を進め、さめ紙かい会員交流を通して、会員の顔と企業が見える活動を実現してきました。この5年間に会員数48名から74名へと組織率5%を超えた取り組みを報告。

12  
分科会

愛知



東加建設  
代表取締役  
加藤 昌之氏  
愛知同友会副代表理事

## 情報創造は私たちの手で 時代の要請に応えられる広報・情報化戦略

中小企業憲章の閣議決定や中小企業振興基本条例の制定運動、地域の諸団体との連携などを通じ、「地域社会と共に歩む同友会」への社会的注目が高まっています。このような中、正しく同友会運動を知らせるための対外広報活動(報道対応やホームページ)の重要性が増えています。一方、同友会の組織づくり(学べる組織、減らない組織、増える組織)において内部情報ツール(広報紙や会活動支援ツール)の活用による会内情報の共有化も不可欠の課題となっています。これらを踏まえ、「時代の要請にこたえられる情報化戦略とは何か」、愛知同友会の事例を参考に共々考えていきます。

13  
分科会

中同協



東ヒロハマ  
代表取締役会長  
広浜 泰久氏  
中同協事務長



福岡県中小企業家同友会  
事務局長 川畑 毅行氏



神奈川県中小企業家同友会  
事務局長 上野 真之氏

## 組織強化の鍵は人 役員と事務局の連携強化で組織的な同友会づくり

中同協・事務局労働環境改善プロジェクトからの提案をもとに広浜幹事長が問題提起。福岡同友会の川畑事務局長からは「よい事務局づくり」に取り組む中で気づいた「労使見解」の意味を会員企業の実践に学びながら、すすめてきた改革を事例報告。役員と連携しての取り組みについてのポイントを神奈川同友会の上野事務局長が報告。役員と事務局の連携を強化し、事務局の充実をはかり、組織的事務局づくりに取り組む方向の確立を目指します。

14  
分科会

北海道



東洋電機  
代表取締役会長  
渡辺 純夫氏  
帯広支部幹事



富田産業  
代表取締役  
山口 勇氏  
南しれとこ支部  
釧路地区会幹事



トープ計装機  
代表取締役会長  
福井 克美氏  
新報支部幹事



釧路市産業振興課次長  
高木 亨氏



東クアハキ  
取締役会長  
守 和彦氏  
北海道同友会代表理事

## 中小企業振興基本条例の制定とその後の取り組み

中小企業振興基本条例は、2011年3月末で15道府県(6)市区町に広がってきました。中でも「条例」制定までのプロセスに同友会がしっかりと関わってきた地域で、新たな連携と活力が生まれています。中小企業憲章制定という新しい状況を踏まえ、北海道東部の帯広市(2007年制定)、釧路市(2009年制定)、別海町(同)の事例から、行政サイドの視点も交えて、条例づくりの取り組みと制定後の展開について考えてまいります。

15  
分科会

北海道



三晃化学  
代表取締役  
渡辺 民嗣氏  
HOPE 代表世話人



北海道立総合研究機構  
本部連携推進課副課長  
鈴木 耕浩氏  
HOPE 企画委員



北海道経済産業局  
産学連携推進室長  
村上 敦氏



北海道大学  
産学連携本部副本部長  
荒瀬 恒久氏  
HOPE 連携委員

## 連携を広げ、仕事づくり地域づくりのできる同友会に なぜ今、HoPEの活動が注目されるのか

本分科会は6月3日申込締切りとなります(定員50名)

HoPEは2001年、北海道同友会産学連携研究会として発足。現在220名の会員と35の行政研究機関で構成されています。経営者が主役となる産学連携のモデルとして、昨年経産大臣賞も受賞しました。今回は産学連携の北海道の拠点とも言える北海道大学北キャンパスを見学します。さらにHoPEの産学官の出会いの場としての仕組みづくりについて研究機関、行政機関からの活用や期待の報告をいただき議論を深めてまいります。



プレ企画



中小企業振興基本条例で  
地域はどう変わるか

**A** 7/4~5  
一泊  
**釧路コース**

中小企業振興基本条例は、制定後どのように生きて働く力になるのか。全国的に注目される「釧路市円卓会議」に参加し市長や大学学長と語りあいましょ。夕食交流会は、釧路名物「岸壁炉端焼き」で。

- ◆ 日程 7月4日(月) 10:45 釧路空港集合
- ◆ 宿泊 釧路プリンスホテル 釧路市幸町7-1
- ◆ 参加費 25,000円 ※宿泊代、交流会、バス代、釧路~札幌のJR代込
- ◆ 最小催行 8名



シュレッダーダスト再資源化工場と  
アイヌ文学館を訪ねる

**B** 7/4~5  
一泊  
**登別コース**

全国初のシュレッダーダスト再資源化工場 SR テクノ社を見学。「アイヌ神謡集」を残して夭折した知里幸恵さんの記念館を見学。夜は名湯・登別の湯とカニづくし御膳を堪能して下さい。

- ◆ 日程 7月4日(月) 13:30 JR 登別駅集合
- ◆ 宿泊 登別石水亭 登別温泉
- ◆ 参加費 19,000円 2人1部屋を基本とします ※宿泊代、交流会、札幌迄のバス代込
- ◆ 最小催行 15名

**C** さっぽろ前夜祭 7/4

ようこそ札幌へ!

総会前日から札幌入りされる皆様のための夕食交流会です。会場は、魚にはうるさい道産子にも評判の居酒屋さんを貸し切りました。全国の同友と楽しく交流しましょう!

- ◆ 日程 7月4日(月) 18:30~20:00
- ◆ 会場 函館開陽亭2号店 札幌市中央区南6条西5丁目 開陽亭ビル TEL.011-512-2747
- ◆ 参加費 4,000円 ◆ 定員 100名



アフター企画

宇宙に一番近い町工場・植松電機



**D** 7/6  
日帰り  
**赤平コース**

人口1万2千人あまりの赤平市にある植松電機は、ロケットや人工衛星もつくる「宇宙に一番近い町工場」。当日はハイブリットロケットエンジンの燃焼実験、微小重力実験も行います。

- ◆ 日程 7月6日(水) 12:30  
ロイトン札幌出発  
7月6日(水) 19:30  
新千歳空港解散
- ◆ 参加費 10,000円 ※バス代、昼食代込
- ◆ 最小催行 10名

ニセコエリア 食と観光の舞台裏ツアー



**E** 7/6~7  
一泊  
**ニセココース**

ニセコエリアは羊蹄山がそびえ、食を核とした観光が盛んな地域です。ようてい農協の梨果場や第6次産業を実践する農場の見学、地元会員との交流を通じて、ニセコブランドの舞台裏を学びます。

- ◆ 日程 7月6日(水) 13:00  
ロイトン札幌出発  
7月7日(木) 12:00  
JR札幌駅解散
- ◆ 宿泊 ホテル第一会館 JR 倶知安駅前
- ◆ 参加費 19,000円 ※宿泊代、交流会、バス代込
- ◆ 最小催行 10名

全国×十勝 ビジネス・マッチング



**F** 7/6~7  
一泊  
**十勝コース**

農業王国「十勝」のこだわりの農畜産物、食品を中心にビジネスマッチングの務談会を行います。お菓子の「朝月」などの工場や農場の見学もあります。ぜひじっくりとご覧下さい。

- ◆ 日程 7月6日(水) 13:00  
ロイトン札幌出発  
7月7日(木) 18:00  
帯広空港解散
- ◆ 宿泊 ふく井ホテル JR 帯広駅前
- ◆ 参加費 19,000円 ※宿泊代、交流会、バス代込
- ◆ 最小催行 10名

# 開催要項

- 日時: 2011年7月5日(火)13:00開会  
7月6日(水)12:00閉会
  - 受付: ロイトン札幌
  - 会場  
主会場: **ロイトン札幌** (全体会議、分科会、パーティー)  
サブ会場: **さっぽろ芸術文化の館** (分科会)
  - 参加費: **20,000円** (パーティー代含む・宿泊代別途)
  - 参加申込: 所属の同友会事務局まで
  - 締切: 6月20日(月)  
移動分科会(第9-第15)の申込締切は6月3日です。
- ※6月21日(火)以降のキャンセルは参加費(パーティー代含む)の全額をご負担頂きますのでご注意ください。

## 千歳空港から札幌までのアクセス



空港、新千歳駅 — 快速エアポート — 札幌駅  
36分

15分間隔で出ています(片道1,040円)



空港到着ロビー — 中央バス  
北都交通 — ロイトン札幌  
70分

JAL・ANA各到着口出発、ロイトン札幌に到着します

30分間隔で出ています(片道1,000円)

※到着ロビー内にバス案内カウンターがあります。不明な点は係員におたずねください。

## 会場

### 会場までの交通

JR 札幌駅下車



タクシー利用

「ロイトン札幌」まで約5分  
料金 820円程度

地下鉄利用

「札幌駅」より  
南北線真駒内行きに乗車、  
「大通駅」で  
東西線宮の沢行きに乗換  
「西11丁目駅」下車、徒歩3分



## 中小企業家同友会全国協議会 第43回定時総会 参加申込書

名前(ふりがな)		企業名		
		性別(男・女)		
		役職		
第1希望	第2希望	所属同友会	プレ企画	アフター企画
分科会	分科会		<input type="checkbox"/> ④ 創路コース <input type="checkbox"/> ⑤ 豊別コース <input type="checkbox"/> ⑥ さっぽろ新夜祭 <input type="checkbox"/> 参加しません	<input type="checkbox"/> ⑦ 赤平コース <input type="checkbox"/> ⑧ ニセココース <input type="checkbox"/> ⑨ 十勝コース <input type="checkbox"/> 参加しません

- お申し込みは所属の同友会事務局までお願いいたします。会場の関係などで、第2希望の分科会になる場合もございます。ご承知おきください。
- \*本登録内容は行事設営のために中同協の管理のもとに参加者名簿に活用し、それ以外に使用することはありません。
- \*本行事の様様を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。